

# この条例がめざす社会とは…

## 相談体制の充実【第4条】

自分を取り巻く環境の中で起きる問題や悩みは、なかなか人には言えなかったり、一人で考えても解決できなかったりすることがたくさんあります。

そんなときに、いつでも、誰でも、どこでも、気軽に相談できる場所を充実させることが大切です。



## 教育及び啓発【第5条】

正しい知識がないのに、「いざっ!」という場面で、正しい行動ができるでしょうか? インターネットに広がる様々な情報を、そのまま信じていないでしょうか?

部落差別を解消するには、まず正しい知識を一人ひとりが勉強し、理解をすることが大切です。



正しい知識を学ぶことで間違った行動に、ブレーキをかけることができます。



自分に偏見や差別意識がないか、自分自身を見つめ直すきっかけとなります。



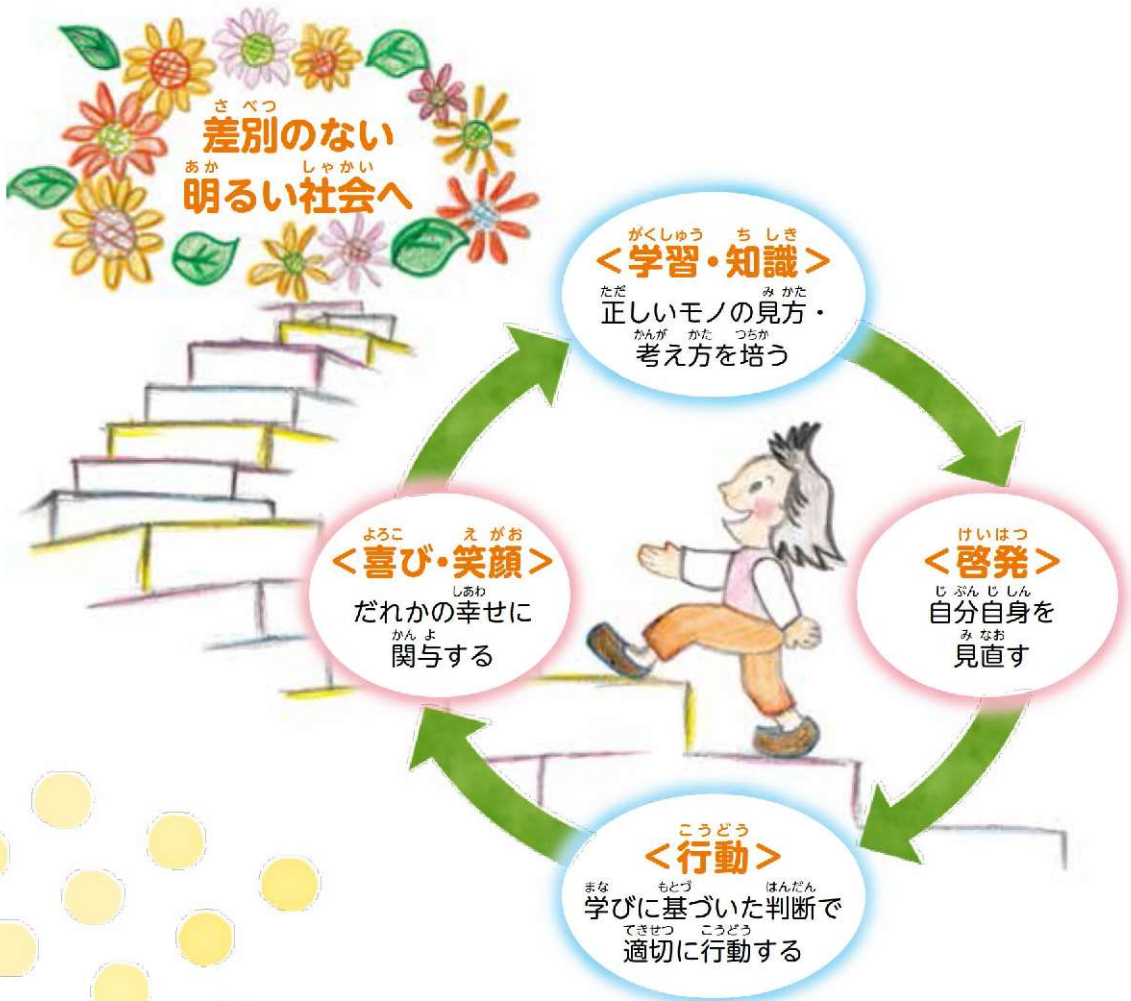
実態調査〔第6条〕

部落差別はなかなか表面化しにくいのが実態です。  
 差別の現状を把握するためには、昔と比較し生活実態がどう変化しているのか、差別事象は起きていないのか、市民の意識はどう変化しているのか等の実態調査が必要です。  
 また、インターネット上での部落差別についても定期的に調査し、モニタリング（監視）をしながら、削除依頼をする等の対応が必要です。



差別のない明るい社会

この条例がめざす社会とは…





# インターネット上での質問です。あなたならどんな回答をしますか？

質問：両親に結婚を反対されています。どうしたらいいでしょうか？

質問者 Aさん 2021/11/21 00:45

付き合っている彼と結婚を考えていますが、両親に反対されています。以前は優しい彼のことを気に入ってくれていたのですが、彼の出身地を聞く機会があり、それ以降、手のひらを返したようになりました。どうやらその地域は「同和地区」というようです。

両親のことは大好きなので、祝福してほしいです。どうにか納得させたいのですが難しいでしょうか。私が同和地区のことについて詳しく知らないのですが、どうしてそんなに反対するのでしょうか。

回答者 あなたの回答文

回答者 Bさん 2021/11/23 20:20

大切なあなたの幸せを願うご両親だからこそ、悪意ある噂話を信じ、反対されたのかもしれない。しかし、あなたが彼に魅かれた理由を思い出してみてください。あなたはきっと彼自身の性格や、お人柄、あなたを大切にすることの心に魅かれていたのではないのでしょうか。相手が「どこで生まれたか」など、本人の努力で変えることができないことや、ご自身で確認していない噂話で、結婚をするかどうかを決めるのではなく、彼そのものを見つめて決めることが、あなたの幸せにつながっています。

これらをふまえて、ご両親にもう一度彼に魅かれた理由や彼の人柄を伝え、彼と結婚することが自分の幸せであることを伝えてみてください。

## Aさんのこと

Aさんのように、「自分の知らないこと」は不安につながり、ついつい便利なインターネットで答えを求めてしまう気持ちはよくわかります。

しかし、インターネット上は、正しい情報ばかりではないということを忘れてはいけません。悪意のある人がバラまいている情報、なにも知らずに誤った内容を拡散されている情報：などいろんな情報であふれています。

人に尋ねにくいことや、一人で考えて判断がつかないときは、この冊子の最後にある相談窓口などにも相談してみましよう。

## 本当に「ベストアンサー」？

インターネット上で「良い回答」として選ばれているものでも、悪意ある人が誤った考えを広げるために選んでいる回答も多々あります。「何が差別となるのか」をきちんと知らないで、「良い回答」という言葉に惑わされてしまう可能性があります。正しいことを知り続ける行動はとても大切になってきます。

あなたが発信する側となったときも、「誰かが傷つく内容になっていないだろうか」と一度立ち止まって、想像を広げてみるといいですね。